

## 家族で防災会議を

～家族で役割分担・危険な場所・連絡方法を確認しよう～

東日本大震災から1年の月日が過ぎました。震災前の生活に戻り、あの日の記憶がだんだん薄れてきてはいませんか。今日を契機にご家族で防災会議をしてみましょう。また発生するかもしれない大地震に、ご家族や地域での備えを再確認しましょう。

### ● 家族内で役割分担 ●

- ・ 日常の被害予防対策上の役割と災害時の役割の両方について決める。
- ・ 災害時の避難に支障のあるお年寄り、病人、小さな子どもがいる場合は、誰が保護を担当するかなども話し合う。

### ● 危険場所のチェック ●

- ・ 家の内外をチェックして危険場所を確認し合う。
- ・ 危険な部分については、修理や補強の方法についても話し合う。

### ● 家具の配置と転倒防止対策 ●

- ・ 家具の配置換えによって家の中の安全なスペースを作れないか工夫する。
- ・ 家具の転倒や落下を防ぐ方法を考え、そのための工夫などがあれば教え合う。

玄関や廊下に家具は置かないようにしましょう。

### ● 非常持ち出し品のチェック ●

- ・ 家族構成を考えながら必要な品がそろっているかチェックする。
- ・ 食料や水、乾電池等定期的に取り替える必要がある物は誰が担当するかも話し合う。
- ・ 建物倒壊に備えて分散配置をする。（玄関、物置、車内等）

非常持ち出し品や備蓄品は、一度に持ち出さなくても構いません。状況に応じて、あとから取り出すこともできます。また、賞味期限や季節の変わり目もあるため、半年に一度は中身をチェックできれば理想的です。



### ● 避難時のポイント ●

- ・ 学校や職場など家族が離れている時の連絡方法や避難場所を確認しておく。
- ・ 避難先や連絡先を紙に書き出したり書いた紙をドアや壁にはったりする。

家のブレーカーは必ず切りましょう。熱帯魚のヒーターや電気ストーブから火が出た例もあります。



## 消防職員意見発表大会で努力賞



2月15日、石岡市中央公民館で、「消防防災」をテーマに、県内26消防本部の代表者が意見を発表する「第35回全国消防職員意見発表茨城県大会」が開かれました。この意見発表会は、消防職員が日頃の業務に対する問題等を考察し、これからの消防業務のあるべき姿や職務における提案や取り組みを発表する場として毎年開かれています。

今年は、26人が業務や体験を踏まえた意見を発表し、当市からは西消防署の藤田大樹副士長が、「大震災を体験して」と題して発表。

緊急消防援助隊員として福島県へ派遣された経験から、「いつ発生するかわからない大災害に備えるため日々訓練をし、もし発生した場合には、最善の活動ができるよう努力したい」と話し、努力賞を受賞しました。